

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	関西外国語大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カンサイガイコクゴダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F127310108107
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	総合実習A～E(インターンシップ)
	学部・研究科等名	英語キャリア学部・外国語学部・英語国際学部
	担当教職員名・役職	小谷 克則(英語キャリア学部教務部部長)、玉井 久之(外国語学部教務部部長)、神田 修悦(英語国際学部教務部部長)、キャリアセンター
	受講者数実績年度	令和4年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	272
	受入企業等数	146
	受入企業等名	<a href="https://www.kansai-gaidai.ac.jp/placement/support/internship/">https://www.kansai-gaidai.ac.jp/placement/support/internship/</a>
	産学協議会の整理上の類型	1.令和4年度実績につき分類未適用
	キャリア形成支援活動の分類	1.長期(概ね1か月以上)のキャリア形成支援活動 2.有給インターンシップ 3.海外でのキャリア形成支援活動 5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動 6.低学年(大学1年次～2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次～4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等) 3.その他
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	上記1と2の他に、ホテル業界へ就職後、支配人等の管理職を目指す学生には、実習先ホテルにマネジメント研修を実施いただいている。
	1-3.上記回答内容に関する詳細	学生は100を超える受入れ先から、任意の就業体験の選考を受けることができる。さらに、ホテル業界へ就職し、支配人等の管理職を目指す学生には、専門のプログラムを設けている。これは正課授業と連動しており、事前に国内外のホテル等で就労可能な英語力と専門知識を習得した上で、それらを活用して、就業体験やマネジメント研修に取り組む。

項目	確認事項	届出内容
<b>要素②</b>	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	1.当該キャリア形成支援活動は、教養教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 1単位 大学 2単位 大学 4単位 大学 6単位 大学 8単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	前述の特定の業界を志望する学生に特化したものや、学生の社会的・職業的自立に向けて門戸を広く開いた汎用的なもの等、国内外での多様な就業体験プログラムを夏期・春期休業期間中に1週間から4週間実施しており、それらの就業時間数や事前事後研修で取り組んだ自己研鑽の時間を鑑みて評価し、単位を認定している。
<b>要素③</b>	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	上記1～3の他に、ホテル業界へ就職し、支配人等の管理職を目指す学生には自身の現場体験を、翌年度に臨む、海外ホテルでの就業体験に活かすため、日本のホテルとの違いを想定し、改めて振り返りを行う。
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	適宜メールや電話での報告や相談を受け付け、教職員が対応している。また、学生は実習日報を毎日記入し、現場責任者に判をもらうこととし、モニタリングに代替している

項目	確認事項	届出内容
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	教職員が、就業体験に参加する心構え、重要性、ビジネスマナーや守秘義務の遵守について、そして就業体験での目標設定について研修を行っている。また、ホテル業界へ就職し、支配人等の管理職を目指す学生には、事前にホテル業界の知識・ビジネススキルを研修している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	自身で作成した日報と報告書を活用して、就業体験の振り返りを行っている。また異なる業界の就業先で実習した学生同士でグループワークをさせることで、自身の経験のアウトプットに取り組みさせている。なお、ホテル業界へ就職し、支配人等の管理職を目指す学生には自身の現場体験を、翌年度に臨む、海外ホテルでの就業体験に活かすため、日本のホテルとの違いを想定し、改めて振り返りを行う。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	適宜メールや電話での報告や相談を受け付け、教職員が対応している。また、学生は実習日報を毎日記入し、現場責任者に判をもらうこととし、モニタリングに代替えている。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前研修での目標設定と就業体験後の報告書作成を通して、学生の働くことへの意識や業界・企業理解の変化を確認している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	5日～30日(実習先による)
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	夏期休業期間中および春期休業期間中において、受入れ先によって、5日～30日間の就業体験期間を協議の上決定している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	実習内容の設計にあたっては、大学からの提案内容をもとに実習先毎に考案いただいている。また、実習先の担当者に学生の評価報告書の作成を依頼し、単位認定の際の参考としている。評価項目は理解力、表現力、積極性、協調性、責任感、マナーの6項目で、各項目について、5段階評価と所見の記入を依頼している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://rapport2.kansaigaidai.ac.jp/syllabus/GUSW1000Login.do">https://rapport2.kansaigaidai.ac.jp/syllabus/GUSW1000Login.do</a>
問い合わせ先	大学等名	関西外国語大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	係長
	担当者氏名	山形 修平
	電話番号	072-805-2851
	メールアドレス	<a href="mailto:cc-intern@kansaigaidai.ac.jp">cc-intern@kansaigaidai.ac.jp</a>